



コロナ禍でわかった



やっぱり 遊びは子どもの主食です！

昨年の突然の一斉休校から、学校生活、家庭生活が一変しました。「新しい生活様式」の確立で、友達と距離をおかなければ遊べない。大声を出せない・マスク着用・学習の遅れを取り戻すために沢山の課題を背負わされている子どもたち。

子どもたちが未来と希望を見失しなわないために！
子どもたちにとって一番いいことを見つけるために！
地域で実践、活動をしている方たちのお話を聞き、子どもとおとなが、地域でできることを一緒に考える機会にしたいと思います。
ぜひご参加ください。



齋藤史夫氏



宮里和則氏

齋藤史夫 (東京家政学院大学准教授 ふみちゃんのびっくり算数教室)

宮里和則 (NPO 法人ふれあいの家理事 こども冒険ひろば統括プレイワーカー)

齋藤厚子 (調布少年少女センター事務局、ハッピー子ども食堂実行委員)

梶原政子 (調布教育・文化センター代表、子どもの権利条約 31 条の会メンバー)

2021年6月13日(日曜日)

開場 13:30 開始 14:00~16:00(途中休憩含む)

調布市文化会館たづくり8F 映像シアター

(定員 100 名のところ先着 50 名)

調布駅中央改札から徒歩 4 分

※マスクの着用・来場者の連絡先の記入にご協力をお願いいたします。

主催 調布市公民館・文化会館たづくり利用者会議

運営 たづくりまつり 2021 実行委員会

後援 調布市教育委員会 調布市国際交流協会 調布市文化・コミュニティ振興財団

実行委員会参加団体 25 団体

連絡先 090-6138-3671 (調布教育・文化センター *梶原)

080-5402-4280 (調布少年少女センター *齋藤)

「子どもの権利条約31条の会」が子どもたちへ緊急に呼びかけました

ガマン、している。でもやめない！
遊ぶことをやめない！！
学ぶことをやめない！！
つながることをやめない！！

ボクがボクであるために
ワタシがワタシであるために

自分で考える。
仲間と考える。
思ったことを声に出す。

「一番いいこと」を見つけ
だすために！！

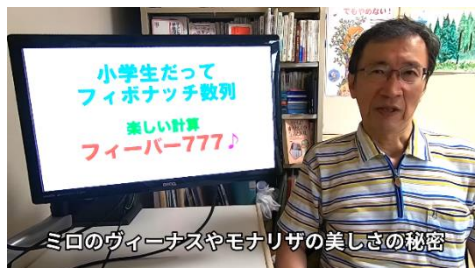


こんなことが出来るよとイメージを膨らませることにより、
一私たちにもこんなことが出来そう、というきっかけに

- ① コロナ禍で子どもの生活と遊びは？-これなら始められそう「創造的な代替策」(国連・子どもの権利委員会声明)
- ② 子どもにとっての外遊びの意味と必要性-あたりまえの日常の中心に「子どもの主食」遊びを
- ③ 真剣に遊ぶおとな・若者の存在と子育てのコミュニティ-地域のさまざまな大人たちの連携を



←宮里和則 著書



ミロのヴィーナスやモナリザの美しさの秘密

↑斎藤史夫 びっくり算数教室



たづくり2F 北側ギャラリーに「子どもの権利条約ってなあに？」を
掲示してありますのでご覧ください。